

平成26年度 当初予算

幸せを実感できる 松山を目指して

平成26年度当初予算では「観光振興」「中小企業の振興」「待機児童対策」の3項目に特に力を入れて取り組むことで、一人でも多くの人が笑顔になり、幸せを実感できる松山を目指していきます。

① 観光振興

瀬戸内海国立公園指定80周年、道後温泉本館改築120周年、四国八十八ヶ所霊場開創1200年の節目を生かし、国が勧める外国人訪日旅行誘致で松山が「新ゴールデンルート」(京都・広島・松山)に組み込まれたことを追い風に、観光誘客に力を入れます。

瀬戸内・松山構想の 推進

瀬戸内海の資源価値に着眼し、広島地域の自治体、船舶事業者、鉄道関係者との連携により、魅力ある旅行商品の開発や戦略的プロモーションを展開しながら「おもてなし日本一のまち松山」宣言のもと、官民一体となって地域経済を活性化させます。



市民参加型のおもてなしイベントで、高まるおもてなし機運

道後温泉の活性化に 向けた取り組み

道後温泉本館改築120周年

年を記念した「道後オンセナート2014」を開催し、道後温泉の魅力为全国に発信します。また道後温泉本館を改築した道後湯之町の初代町長・伊佐庭如矢の顕彰や、道後地区の活性化に地域住民と協力しながら取り組みます。さらに道後温泉活性化計画審議会からの答申を受け、椿の湯の改築に着手します。

子規博の無休館化、坂の上の雲 ミュージアム開館日数の増加

道後温泉本館改築120周年などの節目を迎える中で、子規記念博物館では平成26年度1年間にわたり無休館化、坂の上の雲ミュージアムでも



道後オンセナート 2014のアート作品の一つ 中谷 芙二子「霧の彫刻」

② 中小企業の 振興

臨時開館日を増やし、松山を訪れた観光客に十分満足してもらえような体制を作ります。

市内企業の大部分を占める中小企業の皆さんの暮らしを支え、元氣と活力を取り戻すため、頑張る松山の中小企業を応援します。

経営基盤を強化

消費税率引き上げの影響により売り上げが減少した中小企業に対し、市の融資制度を利用する際、年1割を限度に利子補給を行い負担軽減を図るほか、従業員の資質向上のため研修などを行う市内の企業などに費用の一部助成を行います。

継続的支援の確立

特に力を注ぐ 事業の紹介

- ☆新規事業
- ＜観光振興＞
- 椿の湯施設整備……………6億5,492万円
- 子規記念博物館管理運営……………1億6,966万円
- 坂の上の雲ミュージアム管理運営……………1億2,147万円
- 道後温泉本館改築120周年記念事業の実施……………7,500万円
- 「瀬戸内・松山」の魅力創出……………6,395万円
- 道後温泉の活性化……………4,956万円
- 国際観光客の誘致促進……………1,615万円
- 「伊佐庭如矢」の顕彰……………1,124万円

起業、 創造的事業を 支援

本市をはじめ、学識経験者、経済団体、支援団体などで組織する円卓会議を設置し、中小企業の抱える経営課題などを解消するための方策を検討し、中小企業振興計画を策定するとともに、商工業の現状分析や適正な産業立地などの調査を行います。



中小企業経営・創業支援を目的に銀天街GET!内にオープンした「まつやま経営交流プラザ」

受注、 販路拡大の 促進

消費税率の引き上げによる

経営者・創業予定者に対し新たに各種セミナーや経営課題などを解決するための支援・情報発信に取り組みとともに、クリエイターの育成や商談会を行い、創造的事業の支援を図ります。

③ 待機児童 対策

これまでの取り組みをステップに、地域の保育ニーズを反映し、さまざまな保育資源を活用しながら待機児童の解消を目指します。

私立認可保育所の児童 受け入れ拡充を支援

前年度を超えて児童の受け入れ数を拡充した私立認可保育所や認定こども園に対し、

- ＜待機児童の対策＞
- 地域保育所施設運営補助……………2億8,013万円
- ☆幼稚園長時間預かり保育支援……………1億3,164万円
- 家庭的保育……………8,081万円
- 地方裁量型認定こども園等運営支援……………7,352万円
- 保育所一般管理(人件費補助)……………4,133万円
- 公立保育所仮設園舎設置……………1,099万円
- 認定こども園の設置運営(人件費補助)……………827万円

保育所や幼稚園の認定 こども園移行を支援

人件費の補助を行い、受け入れ児童の確保と施設の負担軽減を図ります。

認定こども園への移行を希望し、一定の基準を満たす見込みのある地域保育所や長時間預かり保育を実施する私立幼稚園に対し、運営費の支援や移行に伴う施設整備にかかる費用の一部を助成し、多様な保育サービス提供につなげます。

公立保育所の 児童受け入れ拡充



保育所に設置された仮設園舎の前で元気に遊ぶ園児

待機児童が増加している市内西部・南部地区において、園庭に仮設園舎を設置した公立保育所の味生・つばき保育園で児童の受け入れ数を拡充し、待機児童の解消につなげます。